

1 次の〔問1〕～〔問6〕に答えなさい。

〔問1〕 次の(1)～(5)を計算しなさい。

(1) $-4 + 7$

(2) $6 + \frac{7}{9} \times (-12)$

(3) $-2(a - b) + 5(2a - b)$

(4) $\sqrt{28} - \sqrt{7} + \sqrt{63}$

(5) $(a + 5)^2 - (a - 8)(a - 2)$

〔問2〕 次の二次方程式を解きなさい。

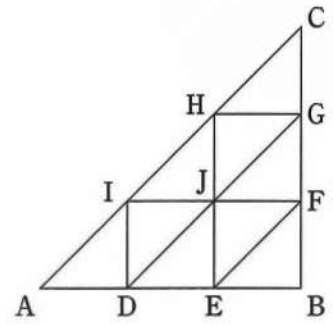
$$(x + 2)^2 = 13$$

〔問3〕 $\sqrt{126n}$ の値が自然数となるような自然数 n のうち、最も小さいものを求めなさい。

〔問4〕 y は x に反比例し、 $x = 2$ のとき、 $y = -3$ である。

このとき、 y を x の式で表しなさい。

- 〔問5〕 $AB = BC$ の直角二等辺三角形 ABC がある。右の図のように、辺 AB を3等分する点をAに近いほうから D, E 、辺 BC を3等分する点をBに近いほうから F, G 、辺 CA を3等分する点をCに近いほうから H, I とし、それぞれ点を結ぶ。また、線分 EH と線分 FI の交点を J とする。



次の(1), (2)に答えなさい。

- (1) $\triangle ADI$ と合同な三角形のうち、平行移動だけで $\triangle ADI$ の位置に移るものは $\triangle ADI$ 以外にいくつあるか、求めなさい。

- (2) $\triangle DEJ$ を $\triangle GHJ$ の位置に移す方法を次の2通り考えた。

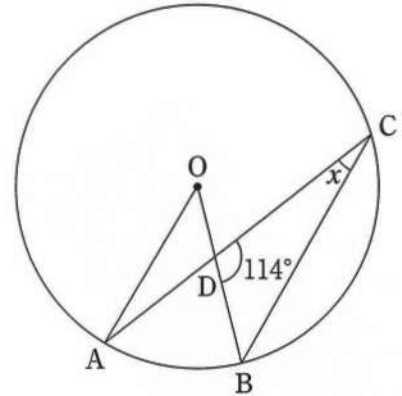
次の **ア** にはあてはまる数を、 **イ** にはあてはまる直線を答えなさい。

方法1 $\triangle DEJ$ を点 J を中心に **ア** 度回転移動させる。

方法2 $\triangle DEJ$ を $\triangle JFG$ の位置に移るように平行移動し、さらに直線 **イ** を対称の軸として対称移動させる。

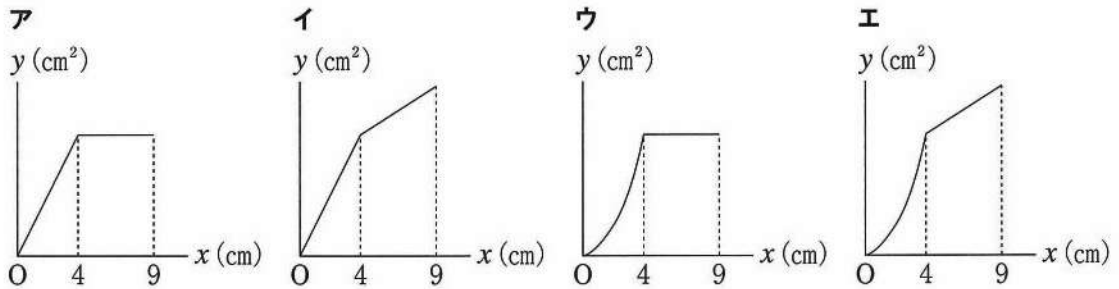
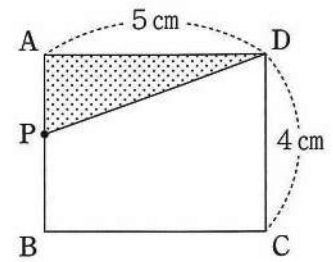
- 〔問6〕 右の図のように、円 O の周上に3点 A, B, C があり、線分 OB と線分 AC の交点を D とする。

$OA \parallel CB$, $\angle BDC = 114^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



2 次の〔問1〕～〔問5〕に答えなさい。

〔問1〕 右の図のような長方形ABCDがある。点Pは点Aを出発して長方形の辺上をB, Cの順にCまで動くものとし、点Pが点Aから x cm動いたときの $\triangle APD$ の面積を y cm^2 とする。



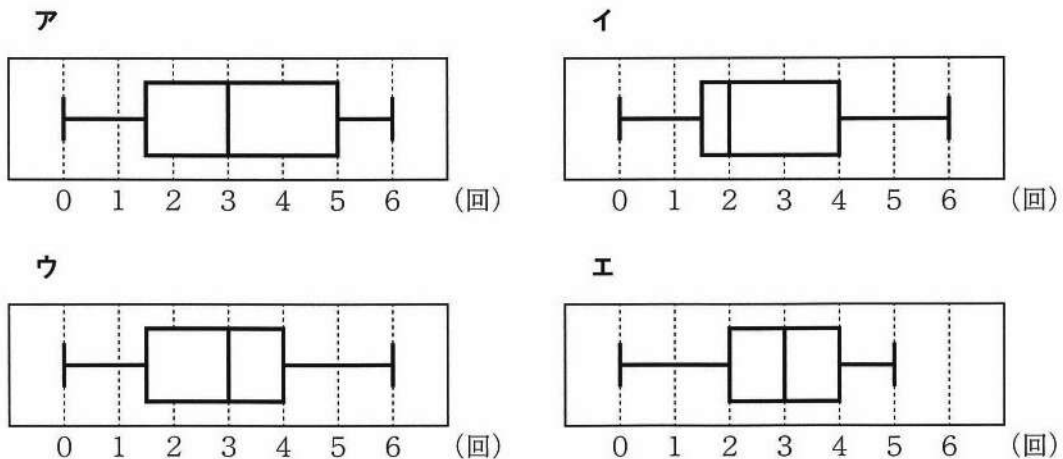
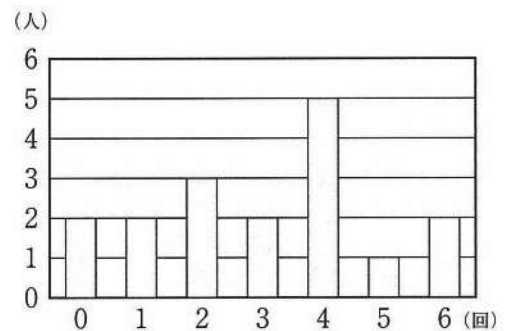
〔問2〕 たかしさんは家族でドライブに出かけました。午前9時に家を出発して目的地まで、一般道路を時速30 km、高速道路を時速80 kmで走り、午前11時に目的地に到着しました。

走った道のりがあわせて130 kmのとき、一般道路と高速道路をそれぞれ何 km 走ったか、求めなさい。

ただし、答えを求める過程がわかるようにかきなさい。

〔問3〕 右の図は、あるクラスの生徒17人が懸垂を行い、その回数をグラフに表したものである。

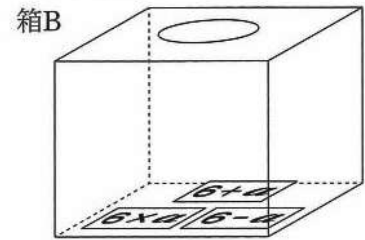
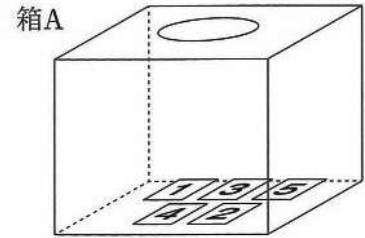
このとき、懸垂の回数の記録を箱ひげ図で表したものであるとして適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。




〔問4〕 箱Aの中に、1, 2, 3, 4, 5の数字が1つずつかかれた5枚のカードが、箱Bの中に、「 $6+a$ 」, 「 $6-a$ 」, 「 $6\times a$ 」の式が1つずつかかれた3枚のカードが入っている。

箱A, 箱Bの中からカードを1枚ずつ取り出し、箱Aから取り出したカードにかかれた数を a とし、箱Bから取り出したカードにかかれた計算をするとき、その結果が奇数になる確率を求めなさい。


ただし、どのカードを取り出すことも、それぞれ同様に確からしいものとする。




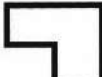
〔問5〕 右の図は、ある月のカレンダーです。このカレンダー

で、3つの数を  の形で囲みます。次の文は、ようこさんと先生が、囲んだ3つの数の和がどんな数になるかを話し合っている会話の一部です。


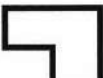
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

ようこ：カレンダーで、 の形で囲んだ3つの数の和は、 $1+2+9=12$, $11+12+19=42$ のように、いつでも2の倍数になるのかな。


先生： のような場合があるので、いつでも2の倍数になるとは限りませんね。他の場合も計算して、どんな数になるか考えてみましょう。

ようこ：他の場合も計算すると、 の形で囲んだ3つの数の和はいつでも3の倍数になるといえそうですね。

次の(1), (2)に答えなさい。

(1)  について、 の形で囲んだ3つの数の和が2の倍数にならない式の例を、 $1+2+9=12$ のような形で1つかきなさい。

(2) 下線部のことがらが成り立つ理由を説明しなさい。

ただし、 の形で囲んだ3つの数のうち、最も小さい数を n として説明しなさい。

3 図1のように、関数 $y = 2x^2$ のグラフ上に2点 $A(2, 8)$, $B(-1, 2)$ がある。

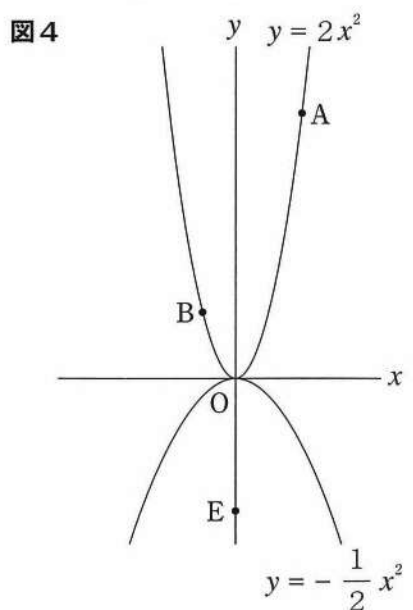
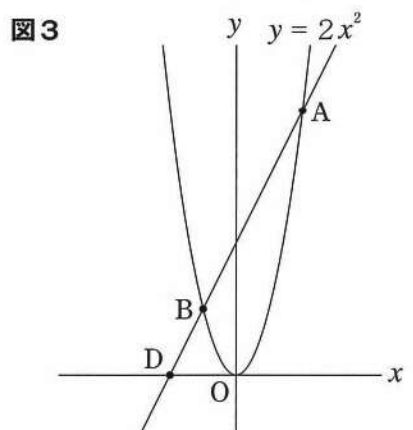
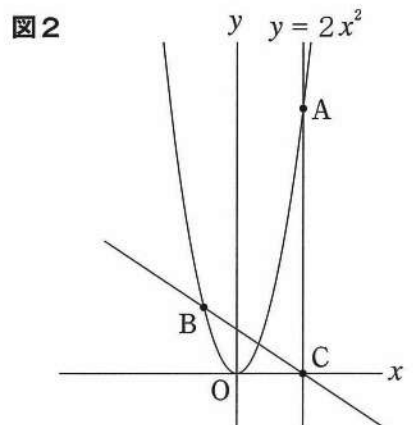
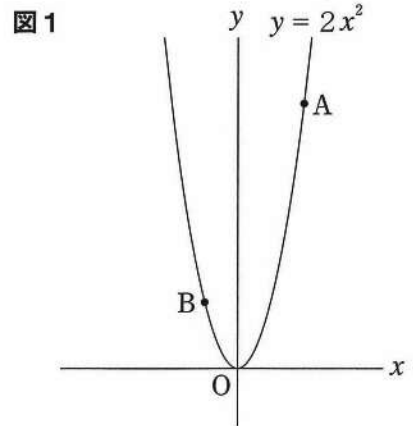
次の〔問1〕～〔問4〕に答えなさい。

〔問1〕 関数 $y = 2x^2$ について、 x の変域が $-2 \leq x \leq 1$ のとき、 y の変域を求めなさい。

〔問2〕 図2のように、点 A を通り、 y 軸に平行な直線と x 軸との交点を C とする。
このとき、直線 BC の式を求めなさい。

〔問3〕 図3のように、直線 AB と x 軸との交点を D とする。
このとき、 $AB : BD$ を最も簡単な整数の比で表しなさい。

〔問4〕 図4のように、 y 軸上に点 $E(0, -4)$ をとる。
また、関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に点 P をとり、 $\triangle OPE$ の面積が $\triangle OAB$ の面積の $\frac{1}{2}$ 倍となるようにする。
このとき、点 P の座標をすべて求めなさい。

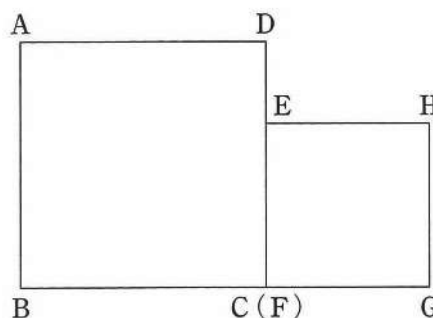


4 図1のように、一辺の長さが a cm の正方形 ABCD と、一辺の長さが b cm の正方形 EFGH があり、点 C と点 F が一致するように辺 CD と辺 EF が重なっている。

次の〔問1〕～〔問3〕に答えなさい。

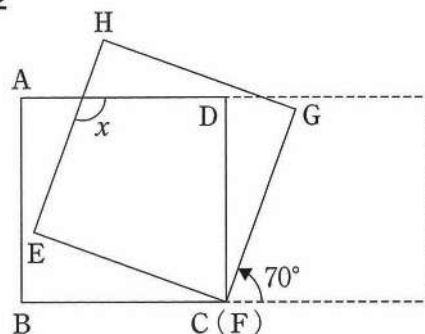
〔問1〕 図1において、点 B と点 H を結ぶ。
 $a = 3$, $b = 2$ のとき、線分 BH の長さを求めなさい。

図1



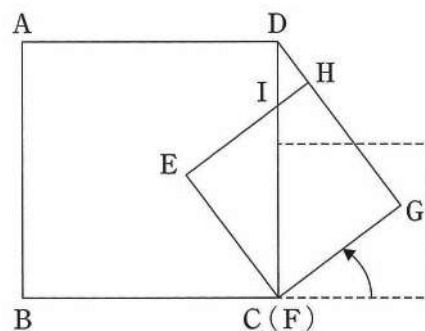
〔問2〕 $a = b$ とし、図2のように、正方形 EFGH を点 F を中心に反時計回りに 70° 回転させた。
 このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

図2



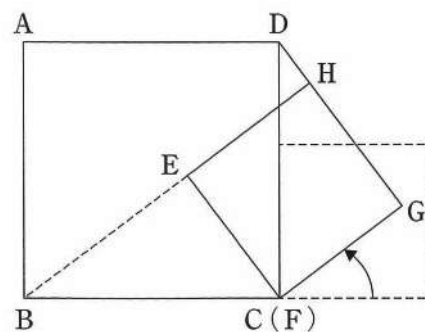
〔問3〕 $a = 5$, $b = 3$ とし、図3、図4のように、正方形 EFGH を、3点 D, H, G がこの順で一直線上に並ぶように点 F を中心に反時計回りに回転させた。
 次の(1), (2)に答えなさい。

図3



(1) 図3において、辺 CD と辺 EH の交点を I とする。
 このとき、 $\triangle DIH$ の面積を求めなさい。

図4



(2) 図4において、3点 B, E, H は一直線上に並ぶことを証明しなさい。

